

青森、春の訪れをアートで感じる企画展、青森県立美術館で開催決定！
チームラボ 6年ぶりの青森登場

Aomori Spring Sprout 展

—青森 春に芽吹く光—

2022年3月7日（月）—3月21日（月・祝） *3月14日（月）は休館

青森県立美術館

青森県立美術館において2022年3月7日（月）～3月21日（月・祝）の14日間にわたり、青森・春到来の息吹をアート作品や映像で表現する展覧会「Aomori Spring Sprout 展 —青森 春に芽吹く光—」を期間限定で開催します。

昨年、八戸市美術館がリニューアルオープンし、青森県内にある5つの美術館・アートセンター（青森県立美術館、青森公立大学 国際芸術センター青森、弘前れんが倉庫美術館、十和田市現代美術館）では、アートを核に美術館と周辺地域をつなぐ、<5館が五感を刺激する—AOMORI GOKAN>プロジェクトが始動しています。青森県では、本プロジェクト始動を契機に「アート」を活用した誘客に、これまで以上に取り組んでおり、本展は、青森県がアートの新しい芽吹き之地となることを期待すると同時にこのアートの芽を、新たな観光コンテンツとして発信することを目的に開催するものです。

本州最北に位置する青森県の3月は、雪解けがはじまり、やわらかな光に包まれる春の到来を予感させる時期。“Spring Sprout”＝“春の芽生え”をテーマに、アート集団「チームラボ」、十和田ゆかりのアーティスト山本修路、さらに青森県の民俗芸能の撮り下ろし映像展示で、青森の春の訪れをアートでご覧いただけます。

青森県での6年ぶりの展示となるチームラボは、「憑依する炎」「生命は生命の力で生きているⅡ」「不可逆の世界」「Matter is Void」「小人が住まう宇宙の窓」「我々の中にある火花」と、初公開の新作を含む6作品を展示。光や空間を使い、自然界の営みと呼応するようなデジタルアートを中心に、子供たちの好奇心を駆り立てるインタラクティブアートも見どころのひとつです。

一方、十和田市に拠点を持ち、県内を長年フィールドワークしてきた山本修路は、青森全土を青森県産の杉で制作した6.5m×6.5mの巨大なジオラマ作品「青森県立体地形模型」を展示。県内のさまざまな場所で撮影した写真も映し、青森全土を体感できる作品です。

また、青森の季節や風土を彩る民俗芸能が集結。春の初めに災厄を祓う「下北の能舞」、春を呼び込む「八戸えんぶり」、疫病退散を祈る「津軽の獅子舞（獅子踊）」、自然の恵みに感謝する「南部の山伏神楽」の撮り下ろし映像を展示します（予定）。

縄文という太古の昔から現代まで、火を灯したトーチを人から人へ繋ぐように、青森の歴史や風土は脈々と紡がれてきました。本展では、青森の春をデジタルアートからアナログ作品、そして民俗芸能と、時間軸と空間軸が交差した作品やパフォーマンスにより、この地の歴史や風土、そして新しいアートの芽吹きを、未来へ繋いでいくことを目指します。

本件に関する問い合わせ

N&A 株式会社 広報：press@nanjo.com
twitter / instagram @n_and_a_art

[開催概要]

- | 展覧会名 : Aomori Spring Sprout 展 -青森 春に芽吹く光-
- | 会期 : 2022年3月7日(月) - 3月21日(月・祝)
- | 開館時間 : 9:30-17:00 (入館は16:30まで)
- | 休館日 : 3月14日(月)
- | 会場 : 青森県立美術館 コミュニティギャラリーA、B、C
〒038-0021 青森県 青森市安田字近野 185 TEL 017-783-3000
- | 入場料 : 無料
- | 出展作家 : ・[山本修路](https://shujiyamamoto.com) [照明 : 高橋匡太] <https://shujiyamamoto.com>
・[チームラボ](https://www.teamlab.art/jp/e/aomorimuseum) <https://www.teamlab.art/jp/e/aomorimuseum>
・映像上映 [下北の能舞 (東通村 予定)、八戸えんぶり (糠塚えんぶり組 八戸市)
矢澤神楽 (矢澤神楽 八戸市) 松森町津軽獅子舞 (松森町津軽獅子舞保存会
弘前市)]
- | 主催 : 青森県
- | 企画・制作 : エヌ・アンド・エー株式会社
- | アクセス : ・JR 青森駅から車で 20 分
・青森空港から車で 20 分
・青森 IC から車で 5 分
- | WEB : 設定中 <https://n-a-arts/aomori-spring2022.com>
2022年2月26日アップ
- | 一般問合せ : 03-6261-5784 (エヌ・アンド・エー株式会社内)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催内容が変更になる場合がございます

[出展作家]

- 山本修路** 青森県・埼玉県在住。青森全土及び全国各地をフィールドワークして、樹木の生態調査、その土地固有の文化資源の研究などを作品として表現。景観観察研究会のメンバー。
- 高橋匡太** 京都府在住。巨大な建築物のみならず、雪原、気球を使うなど、多岐にわたる対象・事象をライティングによって、独自の世界観を生み出す。
- チームラボ** アートコレクティブ。2001 年から活動を開始。集団的創造によって、アート、サイエンス、テクノロジー、そして自然界の交差点を模索している国際的な学際的集団。
アーティスト、プログラマー、エンジニア、CG アニメーター、数学者、建築家など、様々な分野のスペシャリストから構成されている。チームラボは、アートによって、自分と世界との関係と新たな認識を模索する。

出演芸能（映像展示）（3/7～）※内覧の日には上映がありません。

下北： 下北の能舞（東通村） 国指定重要無形民俗文化財
下北半島に伝承される山伏神楽で、東通村の 13 集落で伝えられている。正月には災厄を祓うために獅子頭（権現様）を振って祈祷する「春祈祷」など、年末から新春にかけて各地で披露される。

南部： 八戸えんぶり（糠塚えんぶり組 八戸市） 国指定重要無形民俗文化財
2 月中旬に八戸一帯で行われる芸能・行事。馬を象った烏帽子を被った太夫の舞は、眠っている田の神を起こすように激しい。また田植えの仕草でその年の豊作を祈願する。子供を含め老若男女が参加して、青森に春を呼び込む。

南部： 矢澤神楽（矢澤神楽 八戸市）
北東北一帯に伝わる山伏神楽の一種で、毎年櫛引八幡宮の春と秋の祭典において、五穀豊穰や家内安全、山への恵みなどを祈願して奉納される。獅子頭（権現様）を大切にし、奉納の際には 3-4 頭の権現様を安置し、その前で祈願の舞を舞う。

津軽： 松森町津軽獅子舞（松森町津軽獅子舞保存会 弘前市）
東北地方に広く伝わる「しし踊り」の一種で、津軽地方の獅子踊り（獅子舞）は、熊または鹿を模していると考えられる。松森町津軽獅子舞は、津軽地方一円に獅子踊りを普及させた本家の存在といわれている。夏に疫病祓いなどを祈願して踊られる。

プレス内覧会 開催

2022 年 3 月 5 日（土） 10 時—12 時（9：45 受付開始）

会場：青森県立美術館 コミュニティーギャラリーA、B、C

当日は、チームラボ代表 猪子寿之、山本修路ほか、
企画・制作、エヌ・アンド・エー株式会社 南條史生が登壇予定

* ご参加のプレスは別紙、参加申込書ご記入の上、**3月3日（木）17時までに**
広報担当までご返信ください*

尚、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からスケジュール、内容が変更になる場合がございます。

【出展作品】 広報画像 1~4 ご希望の方は本展広報までお問合せください。

▶チームラボ



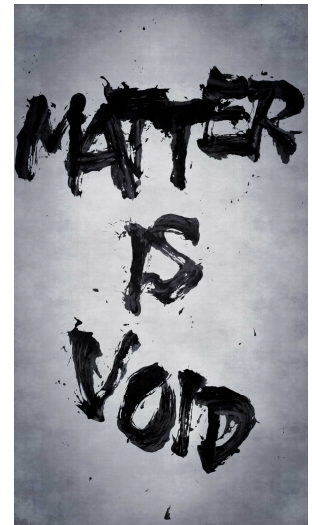
01_憑依する炎 / Universe of Fire Particles

teamLab, 2021, Digital Work, Single channel, Continuous Loop

炎は燃焼により発生する光や熱の現象のことで、燃焼という化学反応を見る時、私たちは感覚的な経験をし、時にはそこに生命を感じます。

《teamLab: FIRE》のアプリを持ってこの作品に近づくと、自身のスマートフォンに炎が灯り、この炎を持ち帰ることができます。またそれを他者のスマートフォンに近づけると、同様に炎が灯り、炎は世界中に広がっていきます。

本作品は作家が模索する『Distributed Art』のひとつで、作品は人々のネットワーク上に分散し、オリジナルが消滅しても存在し続けます。



02_ Matter is Void teamLab, 2022, Digital Work, Endless

この作品は NFT 作品で、誰でもダウンロードし所有することができます。NFT 所有者は、作品の言葉を自由に書き換えることができ、同時に世界中で所有されているこの作品の言葉が書き換わり作品の言葉によって、この作品の NFT の価値も変化していきます。

NFT : Non Fungible Token : 代替不可能なトークン



03_【参考図版】 小人が住まう宇宙の窓 / A Window to the Universe where Little People Live

teamLab, 2022, Interactive Digital Installation, Sound: teamLab

この窓は、小人（いくつかのアイコン）が住んでいる窓です。鑑賞者が窓に光のペンで線を描いたり、光のスタンプを押したりすると、窓には新たな線やスタンプが生まれ、小人たちが遊び始めます。参加型インタラクティブ作品です。

▶山本修路



04_山本修路作品「青森県立体地形模型」（照明：高橋匡太）

青森県全景を青森県産杉により、1/25000 の縮尺で 6.5mx6.5m のジオラマ作品として表現します。等高線に沿って高さも再現、河川部分には雪解けの水を想起させる球を置き、観客がそれを流すなど参加型作品です。ジオラマ上には、ランドマーク的な名所や地名もマーキングされ、地形的にも文化的にも青森県全土を俯瞰できる作品です。

高橋匡太による有機的なライティングにより、ジオラマに時間的な変化など、いくつもの表情を創り出します。壁面に投影される青森県内の四季折々の風景写真とも相まって、青森県全土を体感する空間が出現します。

Aomori Spring Sprout 展 – 青森 春に芽吹く光 –]

青森県立美術館 コミュニティギャラリー

プレス内覧会 参加申込書 事前登録制

日時：2022年3月5日(土) 10時—12時

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前登録制、並びに定員になり次第受付終了となります
※青森県外よりご取材の方は、抗原検査、PCR検査を受検いただき、陰性証明書もしくは陰性と明記された
検査機関からのメール本文のプリントアウトをご持参の上、ご来場ください

出席する 10:00—12:00 (受付 9:45)

<2022年3月3日(木) 17時まで返信>

当日は、チームラボ代表 猪子寿之、山本修路ほか、
企画・制作、エヌ・アンド・エー株式会社 南條史生が参加予定

ご取材の場合、下記記載ください

●貴社名

●参加総数： 人

●ご出席者（参加される全ての方の名前をご記入ください）

●TEL

●E-MAIL

●媒体名

(番組名・サイト名)

※フリーの方はご担当の媒体名をご記載ください

●発行・配信・放送日

月

日予定

●撮影

有り

(ENG

スチール)

◎出席される方におかれましては、マスクの着用など新型コロナウイルス感染予防のご協力をお願いします。

◎当日は係員の案内に従ってください。

◎やむを得ず、ご案内した内容と変更になる場合がございます。

[会場アクセス]

青森県立美術館 コミュニティギャラリー-A、B、C 〒038-0021 青森県 青森市安田字近野 185 TEL 017-783-3000
JR 青森駅から車で 20 分 / 青森空港から車で 20 分 / 青森 IC から車で 5 分

[お問い合わせ]

Aomori Spring Sprout – 青森 春に芽吹く光 – PR [N&A] 竹ヶ鼻・鎌倉 E-mail : press@nanjo.com
〒153-0051 東京都目黒区上目黒 1-11-6 TEL : 03-6261-5784 (3/5 当日 : 090-7239-1885) FAX : 03-6369-3596